

石川工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	解析学 I I	
科目基礎情報							
科目番号	20034			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	4		
教科書/教材	教科書：新 微分積分 I, 新 微分積分 II (大日本図書) / 教材：新 微分積分 I 問題集, 新 微分積分 II 問題集 (大日本図書) / 参考書：多数の関連図書が図書館にある。						
担当教員	小林 竜馬						
到達目標							
1. 積分の応用が理解できる。 2. 関数の級数展開が理解できる。 3. 偏微分法が理解できる。 4. 2重積分が理解できる。 5. 微分方程式が理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標項目 1	積分の応用が理解できる。			積分の基本的な応用が理解できる。		積分の応用が理解できない。	
到達目標項目 2	関数の級数展開が理解できる。			基本的な関数の級数展開が理解できる。		関数の級数展開が理解できない。	
到達目標項目 3	偏微分法が理解できる。			基本的な偏微分法が理解できる。		偏微分法が理解できない。	
到達目標項目 4	2重積分が理解できる。			基本的な2重積分が理解できる。		2重積分が理解できない。	
到達目標項目 5	微分方程式が理解できる。			基本的な微分方程式が理解できる。		微分方程式が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 2							
教育方法等							
概要	【授業の目標】 解析学Ⅱは、専門科目を学ぶために最も重要な科目の1つであり、その応用は多岐にわたる。微分積分学の基本事項、偏微分、重積分、微分方程式について、その概念と計算法、および応用について学ぶ。この授業では、「工学を学ぶ上で必要な解析学の基礎学力を身に付けること」と「工学的課題の数学的解決方法の習得」を目標とする。 【キーワード】 積分、関数の展開、偏微分、2重積分、微分方程式						
授業の進め方・方法	【事前事後学習など】 到達目標の達成度を確認するために、適宜、レポートなどを実施する。 【関連科目】基礎数学A、基礎数学B、解析学I、代数・幾何I、応用数学 【MCC対応】I 数学、Ⅶ 汎用的技能、Ⅸ 総合的な学修経験と創造的思考力						
注意点	【その他の履修上の注意事項や学習上の助言】 基礎数学A、基礎数学B、解析学I、代数・幾何I、の知識が必要である。 定期試験前の学習はもちろん、日常の予習復習も非常に大切である。疑問点などがあれば質問をして解決しておく。 定期試験などを受験するときは、内容を十分に理解しておく。課題などは必ず提出する。 受講中は講義に集中する。スマートフォンなどの電源を切る。他の学生に迷惑を掛けないようにする。 【専門科目との関連】 環境都市工学専門科目全般 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準として50点以上を合格とする。前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、学年末試験を実施する。 前期末成績：定期試験（80%）、課題（20%） 学年末成績：定期試験（80%）、課題（20%） * 講義に集中しなかった場合や他の学生に迷惑を掛けた場合に減点することがある。						
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	図形の面積、曲線の長さ		1. 積分の応用が理解できる。		
		2週	立体の体積、媒介変数表示による図形		1. 積分の応用が理解できる。		
		3週	極座標による図形		1. 積分の応用が理解できる。		
		4週	広義積分、変化率と積分		1. 積分の応用が理解できる。		
		5週	多項式による近似 (1)		2. 関数の級数展開が理解できる。		
		6週	多項式による近似 (2)		2. 関数の級数展開が理解できる。		
		7週	数列の極限		2. 関数の級数展開が理解できる。		
		8週	級数		2. 関数の級数展開が理解できる。		
	2ndQ	9週	べき級数とマクローリン展開		2. 関数の級数展開が理解できる。		
		10週	オイラーの公式		2. 関数の級数展開が理解できる。		
		11週	2変数関数		3. 偏微分法が理解できる。		
		12週	偏導関数、全微分		3. 偏微分法が理解できる。		
		13週	合成関数の微分法、高次偏導関数		3. 偏微分法が理解できる。		
		14週	極大・極小、陰関数の微分法		3. 偏微分法が理解できる。		

		15週	前期復習	
		16週		
後期	3rdQ	1週	条件付き極値問題	3. 偏微分法が理解できる。
		2週	包絡線	3. 偏微分法が理解できる。
		3週	2重積分の定義	4. 2重積分が理解できる。
		4週	2重積分の計算	4. 2重積分が理解できる。
		5週	極座標による2重積分	4. 2重積分が理解できる。
		6週	変数変換	4. 2重積分が理解できる。
		7週	広義積分	4. 2重積分が理解できる。
		8週	2重積分のいろいろな応用	4. 2重積分が理解できる。
	4thQ	9週	微分方程式の意味、微分方程式の解	5. 微分方程式が理解できる。
		10週	変数分離形、同次形	5. 微分方程式が理解できる。
		11週	1階線形微分方程式、微分方程式の解	5. 微分方程式が理解できる。
		12週	線形微分方程式、定数係数斉次線形微分方程式	5. 微分方程式が理解できる。
		13週	定数係数非斉次線形微分方程式	5. 微分方程式が理解できる。
		14週	いろいろな線形微分方程式、線形でない2階微分方程式	5. 微分方程式が理解できる。
		15週	後期復習	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	2変数関数の定義域を理解し、不等式やグラフで表すことができる。	3	
			合成関数の偏微分法を利用して、偏導関数を求めることができる。	3	
			簡単な関数について、2次までの偏導関数を求めることができる。	3	
			偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。	3	
			2重積分の定義を理解し、簡単な2重積分を累次積分に直して求めることができる。	3	
			極座標に変換することによって2重積分を求めることができる。	3	
			2重積分を用いて、簡単な立体の体積を求めることができる。	3	
			微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。	3	
			簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。	3	
			定数係数2階斉次線形微分方程式を解くことができる。	3	
			簡単な1変数関数の局所的な1次近似式を求めることができる。	3	
			1変数関数のテイラー展開を理解し、基本的な関数のマクローリン展開を求めることができる。	3	
			オイラーの公式を用いて、複素数変数の指数関数の簡単な計算ができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能		
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	
			工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	
			要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	3	
			課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	3	
			提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	3	
			経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	80	20	100
分野横断的能力	0	0	0